

# 女性消防士が大活躍

【消防って女性が活躍できる職場だってこと、知っていましたか？】

小学校の頃に大怪我をした際、救急車に乗りました。その頃の救急隊の印象が強く残り、やりがいのある仕事に就きたいと思い始めたのがきっかけで消防士を選びました。救急救命士を目指したのは、救命士の上司と接していく中で豊富な知識と傷病者への適切な接遇、緊迫した中での冷静な判断力などに感銘を受けたからです。



(平成19年4月採用)

平成27年4月から救急救命士

恥ずかしい話ですが、消防は火災が無いとき何をしているか全く知りませんでした。職に就き消防士の印象がガラッと変わりました。時間があれば火災を想定した訓練、消火栓の点検、地理調査などを行っており、署にいる時間が少なくずっと動き回っている感じ、1日が早く過ぎていったように思います。

勤務は24時間の交代勤務で寝食を共にするため多少不安はありましたが、先輩や同僚のサポートが沢山あり、またいろいろと相談に乗っていただき、安心して仕事ができるようになりました。

体力、筋力では流石に男性には勝てません。そのため、女性や子供への対応は率先して行うようにしています。救急現場で「女性の救急隊員がいて安心しました。」と言っていたただけのこともあり、この仕事にやりがいを感じています。

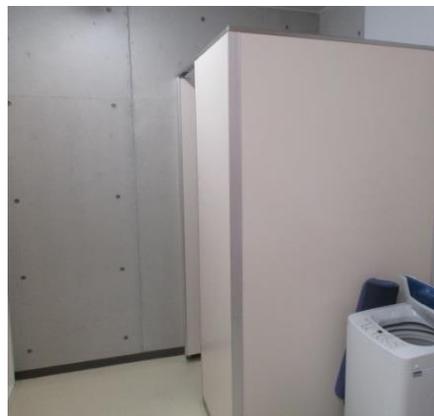
現在、勤務している流山市南消防署についても簡単にですが紹介します。南消防署は平成29年に建て替えた、流山市で一番新しい消防署です。女性職員用のスペースもあり、安心して勤務する事が出来ています。



女性職員用仮眠室



女性職員用浴室



女性職員用洗面室



他にも市内には、中央消防署、北消防署にも女性専用のスペースを完備しており、女性消防士が活躍できるように施設面でもサポートが充実しています。

まだまだ現場経験も少ないですが、女性が必要とされる場面では進んで処置・接遇を行っていき、自信をもって「女性消防士が助けに来ました」と言えるように頑張ります！！

そして、女性消防士を目指している皆さん！一緒に流山市で働けるのを楽しみに待っています！！

「母になるなら流山」・「子育てに優しいまち流山」  
の消防士になりましょう！！



流山消防マスコットキャラクター  
「たかみちゃん」